



2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年11月7日



朝日工業グループ

2016年度上期決算概要

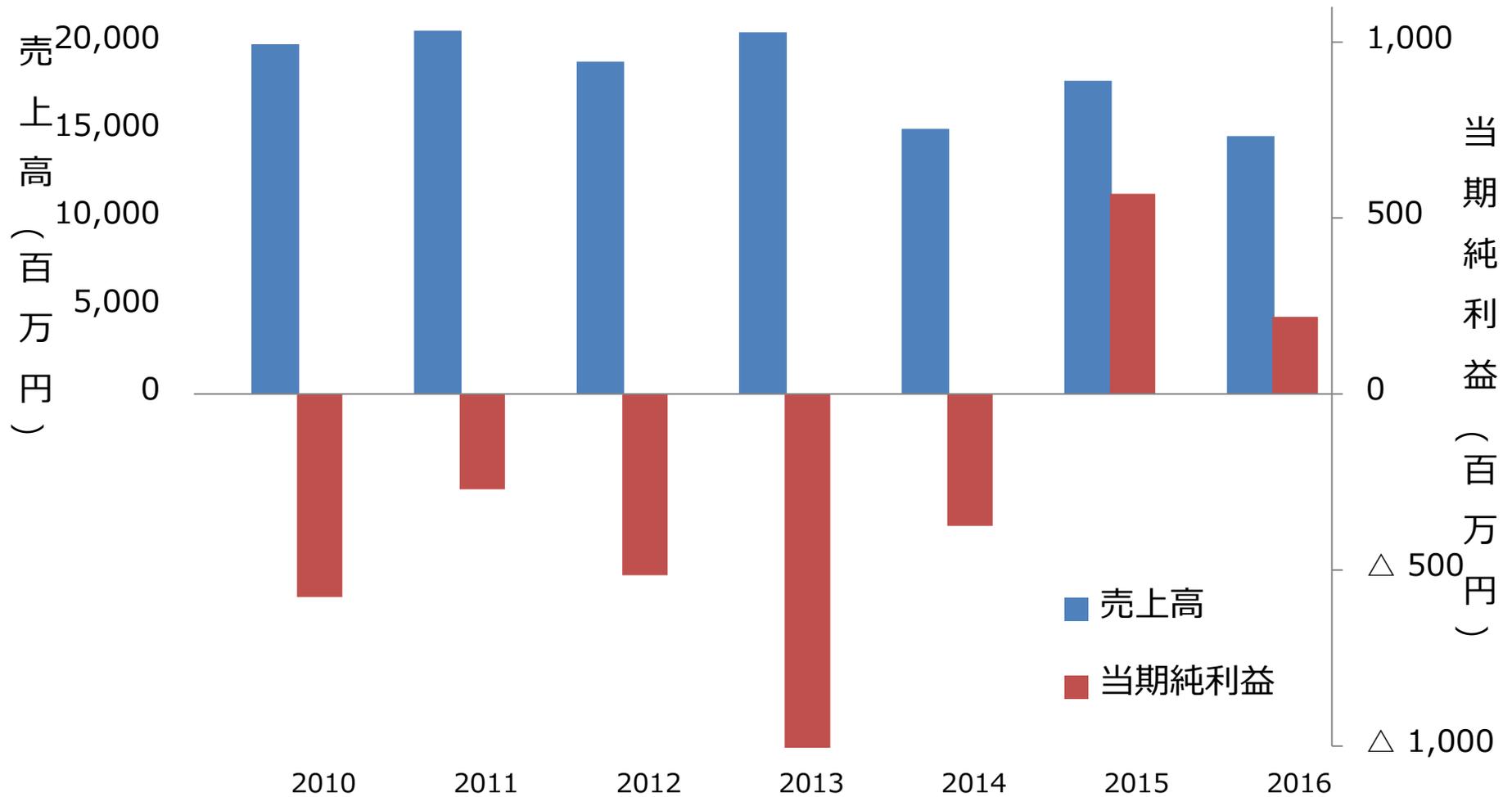
連結損益計算書

● 売上高	14,655百万円
● 営業利益	415百万円
● 経常利益	410百万円
● 当期利益	219百万円

連結損益計算書

(百万円)	2015年度 上期	2016年度 上期	増減率
売上高	17,801	14,655	△17.7%
営業利益	578	415	△28.2%
経常利益	648	410	△36.8%
経常利益率	3.6%	2.8%	-
当期利益	569	219	△61.5%

上期業績推移



連結貸借対照表

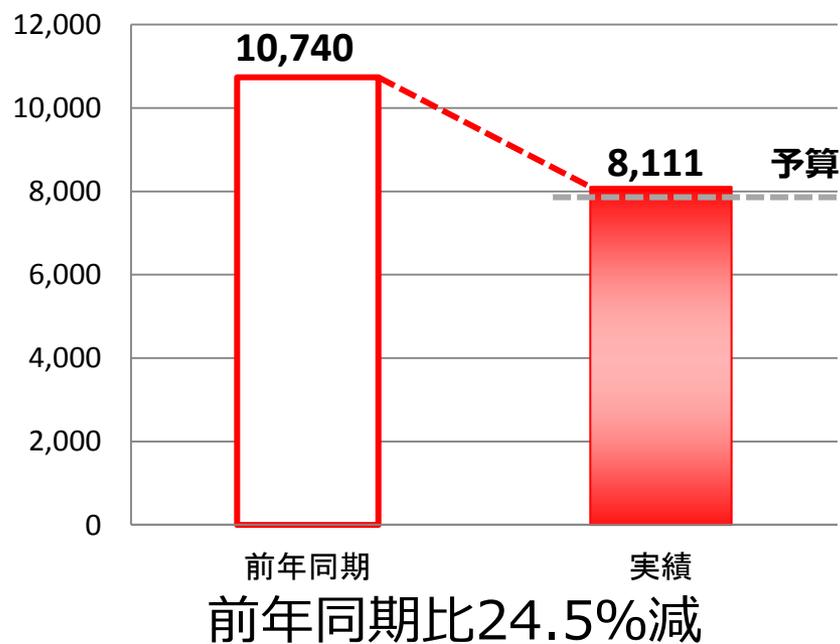
(百万円)	2016年3月末	2016年9月末	差異
流動資産	13,845	13,527	△318
固定資産	11,982	11,988	6
総資産	25,828	25,516	△312
負債計	18,111	17,837	△274
純資産	7,716	7,679	△37
純有利子負債	7,283	6,799	△484
現預金	2,640	3,937	1,297
有利子負債	9,923	10,736	813

連結キャッシュフロー

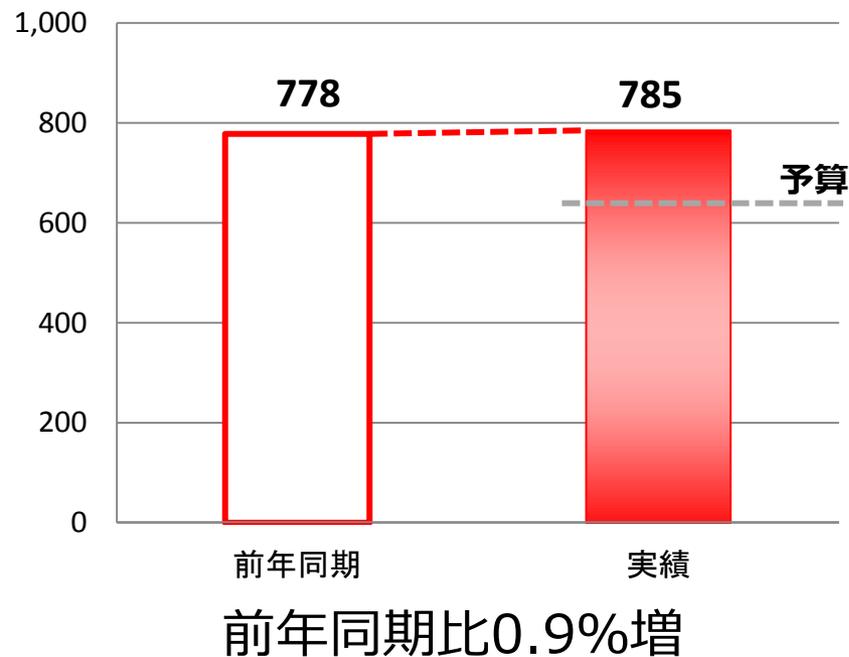
(百万円)	2015年度 上期	2016年度 上期	差異
営業活動によるCF	2,594	853	△1,741
投資活動によるCF (有形固定資産取得)	△263 (△216)	△60 (△295)	203 (△79)
財務活動によるCF	△727	513	1,240
現金及び現金同等物の 期末残高	3,098	3,937	839

鉄鋼建設資材事業

売上高 (百万円)



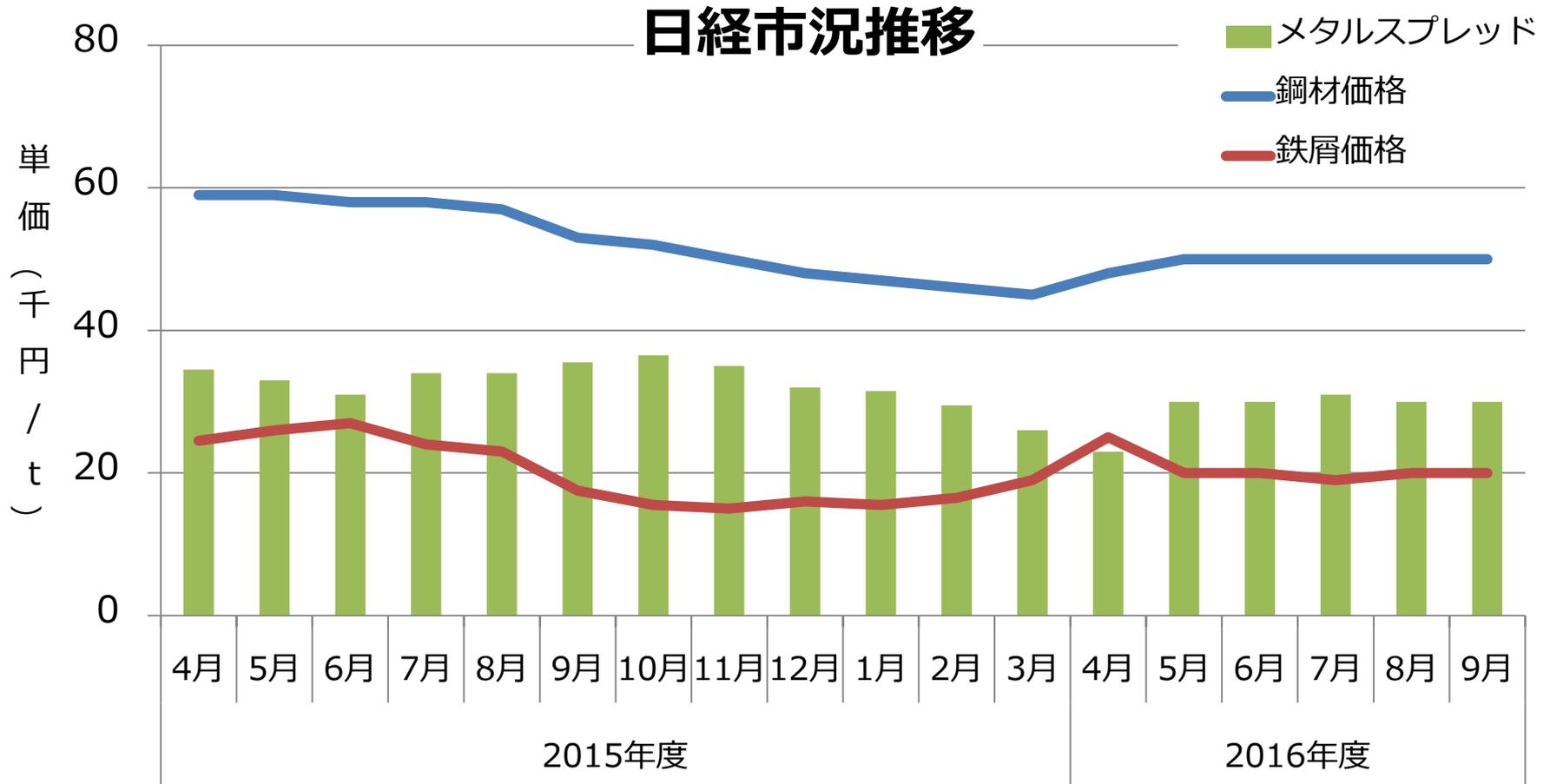
セグメント利益 (百万円)



- ・ 鉄スクラップ市況弱含みによる鋼材市況の停滞
- ・ 売上高は減収するも、エネルギーコスト減少やコストダウン活動の貢献により増益を確保

➡ **減収増益**

鉄鋼建設資材事業



鋼材価格：日経新聞daily SD295A D16東京月末安値

鉄屑価格：日経新聞weekly 特級東京月末高値（毎週木曜日掲載）

鉄鋼建設資材事業

上期の施策

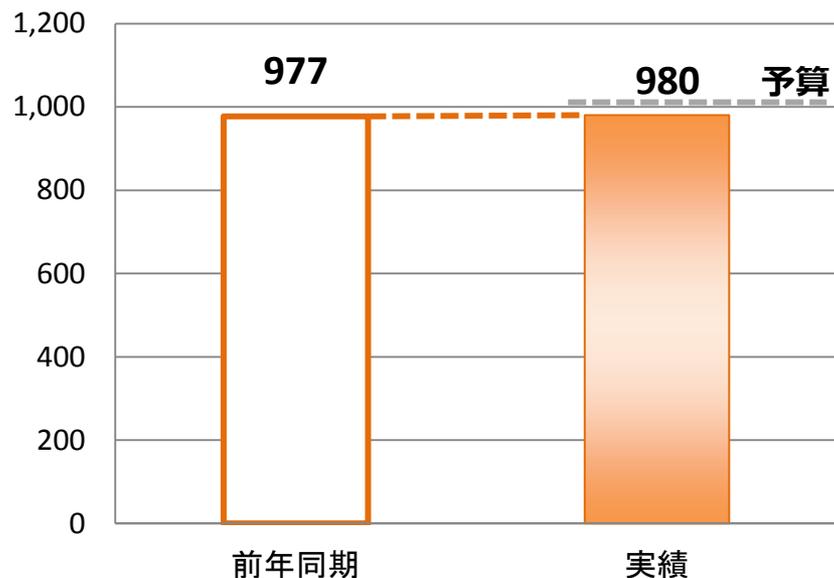
- 太径鉄筋の販売拡大
- エポキシ鉄筋事業からの撤退（2016年5月）
- エネルギーコスト削減

今後の方向性

- スペシャリティ分野への更なる経営資源シフト
 - ・ 高強度鉄筋、構造用鋼アイテムの拡充
 - ・ 高強度・太径・ねじ節鉄筋など
高付加価値製品の販売拡大

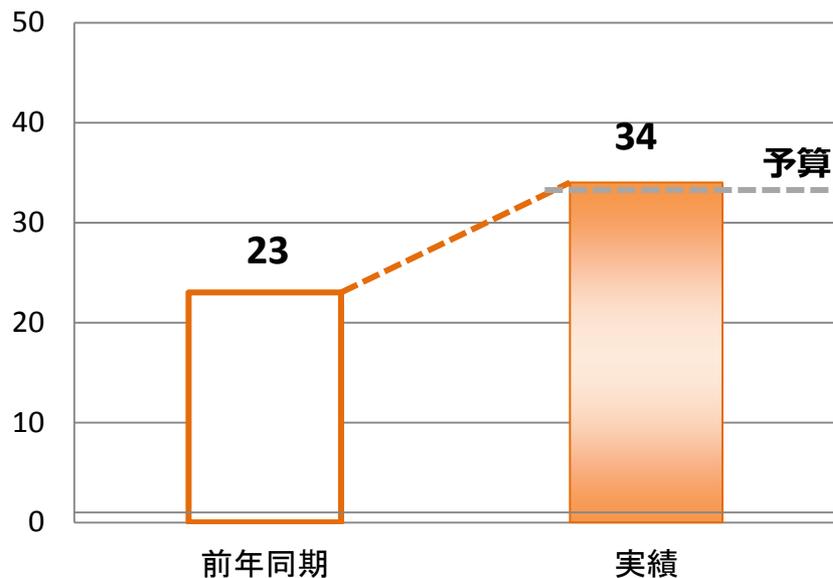
碎石砕砂・マテリアルリサイクル事業

売上高(百万円)



前年同期比0.4%増

セグメント利益(百万円)



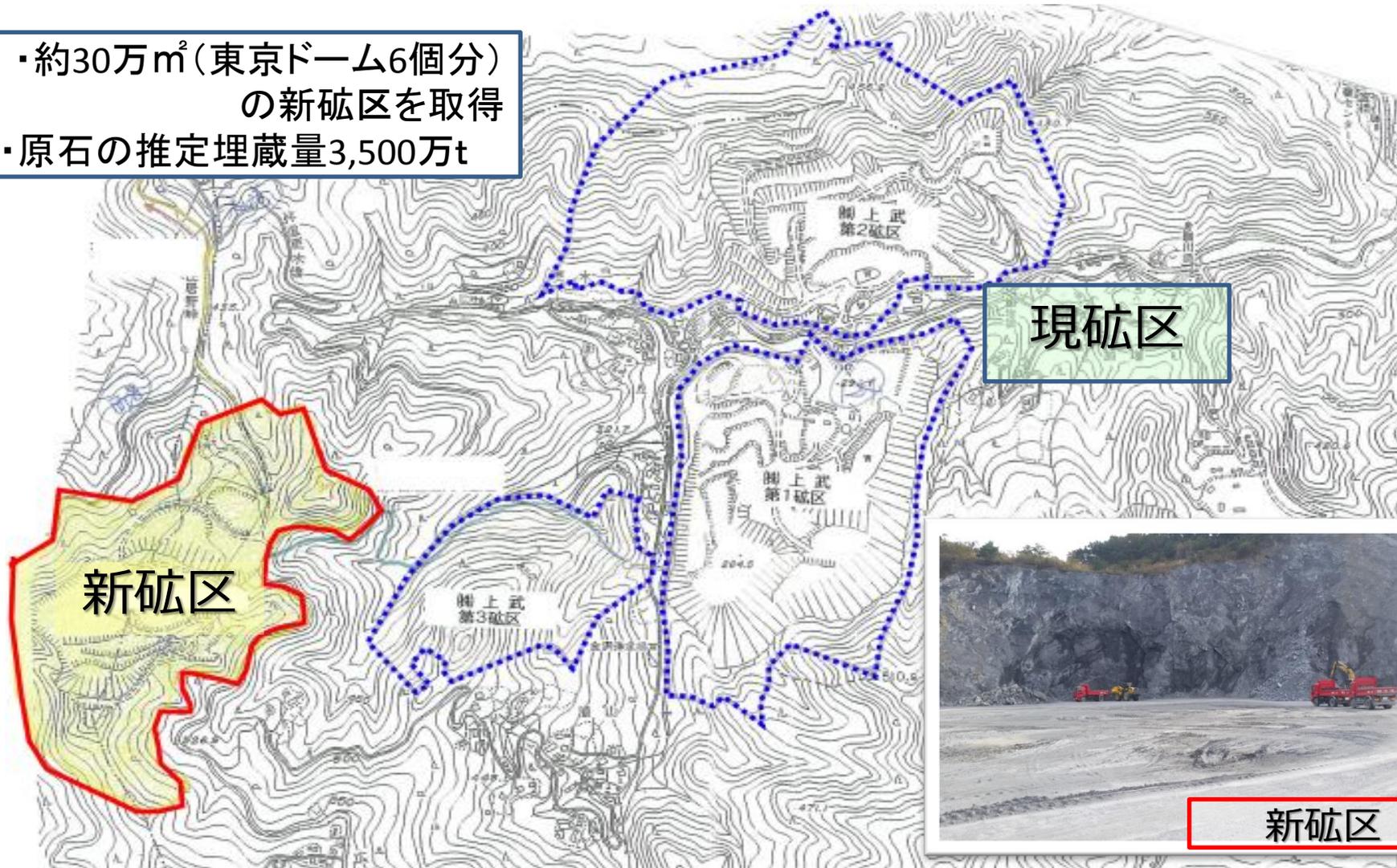
前年同期比45.2%増

生コン向け需要の回復による販売増加

➡ 増収増益

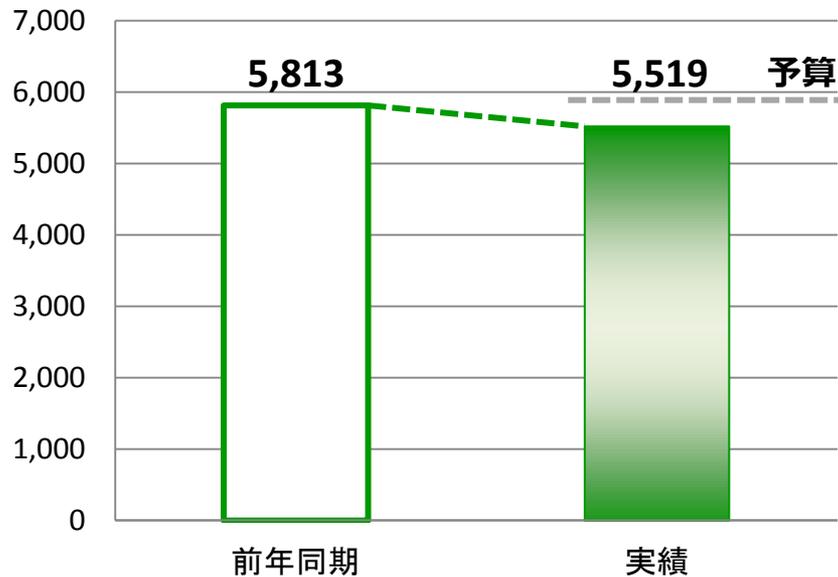
碎石碎砂・マテリアルリサイクル事業

- ・約30万 m^3 (東京ドーム6個分)の新砵区を取得
- ・原石の推定埋蔵量3,500万t



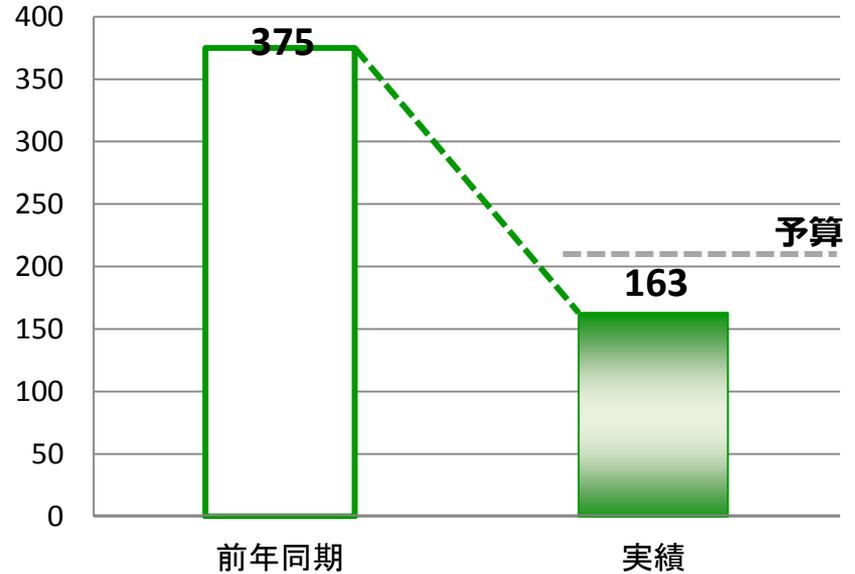
農業資材事業

売上高(百万円)



前年同期比5.1%減

セグメント利益(百万円)



前年同期比56.5%減

- 販売数量は増加も、販売単価の下落を主因に減収
- 豪州朝日は堅調に推移

➡ 減収減益

農業資材事業

上期の施策

肥料

- 営業体制見直しによる営業力強化
(主力製品エコレットの販売数量増加)

種苗

- 大玉トマト新品種「有彩(ありさ)」販売開始
- 肥料営業と連携し、販売領域拡大

乾牧草

- ジョンソン朝日との協働によりアジアへの販売増
- 新商品「T M F (発酵混合飼料)」の販売拡大

農業資材事業

今後の方向性

肥料

- 農業改革という環境変化に対応した
スペシャリティ分野への大胆な経営資源シフト

種苗

- 開発～営業の連携強化による規模の拡大

乾牧草

- ジョンソン朝日と一体となった拡大戦略

セグメント別売上高

(百万円)

売上高	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	差異
鉄鋼建設資材事業	10,740	8,111	△24.5%
砕石砕砂・ マテリアルサイクル事業	977	980	0.4%
農業資材事業	5,813	5,519	△5.1
全社計	17,801	14,655	△17.7%

セグメント利益

(百万円)

セグメント利益	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	差異
鉄鋼建設資材事業	778	785	0.9%
砕石砕砂・ マテリアルサイクル事業	23	34	45.2%
農業資材事業	375	163	△56.5%
全社計	578	415	△28.2%

中期経営計画の進捗状況

中期経営計画基本戦略

中期経営計画 基本戦略

- 「スペシャリティ分野(強みを有する分野)」への経営資源のシフト
- ガバナンス体制、業務執行における経営の刷新(迅速性・透明性の向上)
- 強固な財務基盤の再構築

戦

事業戦略

- ◆ 技術・開発力に裏打ちされた製品の製造、販売にリソースを集中し、
「スペシャリティ分野(強みを有する分野)」を強化
- ◆ 原単位低減、生産性向上等、本源的なコストダウンの追求

略

経営基盤強化戦略

- ◆ 監査等委員会設置会社への移行、組織改正、会議体見直し等による
ガバナンス体制の刷新
- ◆ 執行役員制度の導入、人事制度の改定等による「人財」基盤の充実

財務戦略

- ◆ 安定収益による有利子負債圧縮

経営基盤強化戦略

上期の施策

4月	事業部制を廃止し生産・営業の統括部を設置
	グループ内会議体の大幅削減
6月	朝日ビジネスサポートの立ち上げと業務移管
	監査等委員会設置会社への移行
	執行役員制度の導入
8月	朝日ビジネスサポートへの全シニア社員移籍
10月	新人事制度導入

中期経営計画に掲げた「ガバナンス体制、業務執行における経営の刷新」の基盤整備はほぼ完了



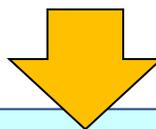
今後の方向性

新人事制度の定着と運用の高度化

事業戦略

5月	【EAC】(株)環境科学コーポレーションの全株式売却 【農業】中国種苗会社「上海恵和種業有限公司」との独占販売契約締結
6月	【ABS】T&Iを朝日ビジネスサポートに商号変更 グループ内の業務受託を開始
7-8月	【農業】関西工場製品倉庫完成 【鉄鋼】夏季大規模定期修理（クレーン取替・電気炉基礎補強等）
11月	【上武】新砒区取得

関係会社の事業戦略完了



今後の方向性

鉄鋼・農業部門の事業戦略追求

2016年度通期見通し

連結通期業績見通し

業績予想変更無し

(百万円)	2015年度 通期業績	2016年度 通期業績見通し
売上高	36,348	33,000
営業利益	1,915	1,500
経常利益	1,931	1,500
当期利益	2,503	1,300

経営指標

	2015年度 実績	2016年度 上期実績	2016年度 見通し
経常利益率 (%)	5.3	2.8	4.5
ROE (%)	36.4	—	16.8
純有利子負債 (百万円)	7,283	6,799	8,200

(注) 純有利子負債 = 有利子負債 - 現預金

配当

	1株当たり年間配当金（円.銭）		
	第2四半期末	期末	合計
2015年度	0	40.00 (うち記念配当10.00)	40.00 (うち記念配当10.00)
2016年度	10.00	20.00 【予想】	30.00 【予想】

本資料お取扱上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行なっておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。